

ご協力ありがとうございます！
(敬称略)

【1月の新入会】

株式会社 明治屋食品 (センター)



【1月の寄付金】

山本豊呼、トヨタ部品福岡共販(株)、(株)九電工
(株)戸上電機製作所、(一社)佐賀県建設業協会
大野城市国際交流協会、天拝いこいの館
高取公民館、荒木清孝、佐賀県有明海漁業協同組合
佐賀県商工会議所連合会、(株)戸上メタリクス
佐賀県農業協同組合中央会

【1月の寄付品】

脇山公民館、ひよどり精肉店、榮あずさ、(株)九電工
福岡リハビリライオンズクラブ、坂田艶子、西村征子
園田法文、シスカ、坂本進、日本エコシステム(株)
(OB・OG 研修生)
バンバン、マルー、シュガー、まべ、ディマス

鬼木大明神 今月の一句

男女の性別、老いや若さにかかわらず
我々が手許に残している秘蔵の宝がある
それは希望だ！
そして我々に何かできることが
残されている限り
希望を失うことは許されない。
我々の生き抜くための鍵は
どんな時でも希望を持ち続けること！
どんな困難に直面しても“ここから始まる
のだ！”ととらえ直すことだ！



初詣・新年会

1月4日(土)、2020年の仕事ははじめです。午前中に三社
(住吉神社、福岡県護国神社、横山神社)参りをしました。研
修生は日本のスタイルを教わりながら手を洗い、心を清め
参拝をしました。

センターに戻ってから
は、お正月について話
を聞いた後に、新年会
としておせち料理や雑
煮を食べました。その
中で、スタッフ&研修
生が今年の抱負を発
表しました。実現できるように頑張りますので、今年1年
よろしくお願いいたします。(安東)



2月の予定

- 1日 新研修生入所
- 3日 対面式・オリエンテーション
- 4日 九電ワンコイン贈呈式
- 7日 脇山小学校感謝の集い
- 8日 朝倉推進協議会役員会
- 9日 アンビシャスフォーラム
- 10日 技能実習生ロイ・上瀧農園(佐賀)配属
- 11日 佐賀県推進協議会料理交流会
- 14日 脇山料理教室
- 15日 We Love オイスカゴルフコンペ
- 17日 脇山行事調整会議
- 19日 脇山小学校研修生お別れ会
- 20日 グリーンウェイブ実行委員会
佐賀県推進協議会幹事会
- 22日 海外研修生修了式
- 29日 脇山ソフトボール大会&研修生お別れ会
体験農園開始式

日本語の様子⑨

暖冬とはいえ、雨が長く続くとひんやり寂しい気持ちになり
ます。研修生は、外部研修に出るものも多く、センター
内は少し静かです。そんな中、1月22日に日本語能力試
験の結果がインターネットで開示されました。結果は下記
のようになりました。

N4 5名受験 4名 合格
N5 14名受験 11名 合格

不合格者の中には、あと一步の研修生もいました。その
あと1歩が悔しくて、涙を流す研修生もいました。頑張っ
て努力してきたからこそその涙です。それぞれが、自分の結
果をしっかりと受け止めて、それぞれの次のステップへと
進んでほしいと思います。最後に研修生に好きな日本語
のことばを書いてもらいました。1番多かったのは、「あり
がとうございます。」でした。研修生に教えることで、わたし
自身も多く勉強することができました。「ありがとうございました。」

みんな、よくがんばりました。そして、
新しい研修生、ようこそ！

日本語の勉強がんばりましょう！

(立石 孝子)



まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 オイスカ西日本

第675号

令和2年2月号付録

「2色刷り」



←Facebookに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！



株式会社九電工様 ワンコインサポート贈呈式

今年度8年目を迎えた、海外研修生支援の「ワンコインサポートプログラム」へ、毎年ご協力を頂いている(株)九電工社員一同様よりご寄付を頂きました。1月10日、鹿島常務執行役員、恒松総務部長にご来所頂き、3000名を超す社員の皆様のご厚意を頂きました。贈呈式では鹿島常務執行役員より研修生に激励の言葉をいただき、研修生からは帰国後のアクションプランを一人ずつ、随分と上達した日本語で報告させていただきました。研修生にも社員の皆様からの思いが伝わったことと思います。毎年のご支援、感謝致します。(廣瀬)



田隈人權のまちづくり館料理交流会

1月25日(土)、田隈人權のまちづくり館で料理交流会がありました。今年で4回目です。今回はインド、バングラデシュ、チベットの料理を作るため地球の方、16名が参加をしました。

参加者は3グループに分かれ、インドのディリープがココナッツチキンドライカレー、バングラデシュのナズマがチキンビリヤニ(ご飯)、チベットのサンモがモモの作り方をそれぞれ指導しました。調理中や食事にも笑いが絶えず楽しい交流会となりました。参加者からも好評で家で作りたいという声も上がりました。

食後は研修生を代表してナズマがバングラデシュの国の紹介をしました。参加者からも質問や研修生への激励がありました。ご参加いただきありがとうございました。次回は秋に行う予定です。是非ご参加をお願いします。(安東)



チキンビリヤニチームの様子



ココナッツチキンドライカレーチームの様子



モモチームの様子

北九州市立則松中学校交流会

1月29日、オイスカ北九州推進協議会管内にある北九州市立則松中学校の交流会に研修生16名が参加をしました。当日は1年生、2年生の9クラスに研修生2人ずつ入り、午前は4クラス(国語・英語・数学・音楽・美術・体育)の授業を生徒たちと一緒に受けました。研修生たちは配布された資料や黒板に書かれた先生の説明を周りの生徒から教えてもらいながらメモをとり授業に臨んでいました。午後は1年生、2年生(300人)と交流会が体育館で行われ、初めに研修生の自己紹介やお国の紹介、続いて帰国後のアクションプランの発表が行われ生徒さん達は研修生たちの説明に深々と耳を傾けていました。その後各国の踊りの披露になると生徒のみなさんも踊りの輪に加わるなど大盛り上がりでした。更に授業後の部活(剣道・柔道・琴)にも参加をして日本の武道体験等をしました。今回初めての交流会でしたが学校を挙げてお迎えをいただき、研修生たちは日ごろの交流とは違った日本の義務教育現場を見ることができ、則松中学校の生徒の皆さんも海外に対する関心が高まるなど大変有意義で和やかな交流会でした。(満川)

部活で琴の練習をしている
インドネシアのティアさん



研修生アクションプラン発表

体験農園だより

今年の冬は本当に温かく、毎年足の指が「しもやけ」で痛くてかゆくて困る研修生は一人もいません。ダイコンを洗う手が冷たくて泣きそうになる研修生もいません。

そして、毎日のように研修生は「いつ雪が降りますか。東京は雪が降るみたいです」と天気予報を見ては福岡に雪が降ることを願っています。寒いのは誰もが嫌いですが、寒い時には寒くなってくれないと人間も野菜たちも調子がくるってしまいます。

先日長崎に研修生を迎えに行くため高速道路を走っていたところ、佐賀平野に広がる麦畑の緑色が春先3月の色ではないかと思うくらい青々としていました。

ダイコンの芯もこのままだと早いうちに徒長して売り物にならないかもしれません。

その反面、施設栽培の農家さんたちは、毎年値上がりする燃料代が今年はだいぶ安く済んで安心していると思います。暖冬で頭を抱えている人、内心喜んでいる人様々でしょうが、やっぱり冬は家族で鍋を囲んで温まる光景が似合う冬であってほしいです。(そうでないと白菜やネギが売れません)(豊田)



魚の料理教室に参加

1月24日(金)、福岡市市議会議員の津田先生からのご招待で、アイランドシティにあるベジフルスタジアム(青果市場)のキッチンスペースを借りて、魚を3枚におろして刺身をつくる講習会に研修生全員で参加をしてきました。

当日は脇山の方も15名程参加して、交流も交えての料理教室になりました。

今回の会場が青果市場という事で、最初に1時間ほどかけて青果市場の見学をし、その後講師の先生から説明を受けながら、タイの刺身づくりにチャレンジしました。

1匹の大きなタイを、脇山の方含め6名程のグループでさばいていくのですが、先生の説明通りにうまくいわずに、大きかったタイがちょっと小さなタイの刺身に変身しました。

お楽しみの日ご飯には、タイの刺身以外に先生が美味しいタイ汁を作って振る舞い、更には津田先生からの指導でさわらのホイル焼きを作って食べました。どの料理もとても美味しく大満足の料理教室になりました。(豊田)



短期外部研修がスタート

1月に入ってから、研修生の希望に応じて1週間程度外部研修に派遣します。

主な研修先は、諫早市にある種苗メーカー(八江農芸)や農機具屋さん、シイタケ栽培の農家さんなど、日頃センターでは研修できない専門的な分野になっています。

今回、諫早市の種苗メーカーで5名の研修生が入れ替わりで研修を行いました。そこでは例年ワンルームのアパートに住んで、自炊をしながら研修を行っています。

昼食にはお弁当を持っていくため、朝早く起きてお弁当を作らなければいけません。

センターでの生活は、食堂に行けば食事が準備されているので、ごはんを準備することがいかに大変か、アパート暮らしをして改めて気付くようです。しかし、料理のメニューは自分の味覚に合うように辛い料理が作れるので、そこは嬉しいみたいです。研修期間も残りわずかとなりましたが、研修生は日本で様々な経験を積みながら大きく成長しています。(豊田)



脇山のほうげんきょう

1月12日、研修生達と一緒に脇山のほうげんきょうに参加しました。みんな、初めての体験です。最初はなんていうことをするか全くわかりませんでした。でも、誰か教えて少しでも分かったと思います。こういう文化は私たち外国人が見ることができるのは、珍しいと思います。そして、やっている間に校区の方々が美味しいみそ汁とおしるこをつくり一緒に食べました。焼いたばかりのお餅もおいしかったです。そのまま食べてもおいしく、みそ汁に入れてもおいしかったです。寒い中それを食べると体が温くなりました。研修生達たくさんの地域の人々と楽しく話をしました。

その後、公民館で防災訓練をしました。火があったら消火器を使ってどうやって消すかの体験をしました。そして、人が倒れたらどうやって助けるのか訓練もしました。ナズマさんとティアさんとサンモさんが前に居ましたのでほとんどのドリルに参加しました。とても、いい勉強になりました。国へ帰っても使えると思います。(リナ)



ほうげんきょうの様子

ウスさんと
ケイティさんが仲良
く、おいしいおしる
こを食べている様

ファイヤードリルの様子

アトリエ木下での研修(家政研修生 エル)

初めてフランス料理の勉強に行ってきました。インドネシアではフランス料理を食べたことがなかったです。日本へ来てからフランス料理を初めて食べてとても美味しかったです。そのフランス料理は美味しいだけではなくてデコレーションもすごいと思いました。

嬉しいことはオイスカからアトリエ木下のレストランで勉強をさせていただきました。最初、アトリエ木下へ行く時、怖い気持ちと心配がありましたけど、行ったらみんながとても優しくてびっくりしました。自分で見たら、心配することがなくなりました。

挨拶してからレストランの食堂へすぐ行きました。食堂の中でシェフは3人居ました。みんな男性です。心配なことがなくなりましたが恥ずかしくなりました。恥ずかしかったけど、2時間たったらもう普通です。昼ご飯を食べながら、いろいろたくさん話しました。フランス料理は簡単に見えるけど、難しいです。肉を焼くのも時間がかかります。もちろん美味しくできるためですから、シェフの人たちも仕事はとても速いです。早くてきれいな仕事をしています。そのやり方、私は女の子ですけどできないと思います。それで勉強が出来て嬉しく思っています。

アトリエ木下の皆様、オイスカのスタッフの皆様ありがとうございました。時間を作ってくれて、勉強ができました。また国へ帰っても頑張ります。



シェフとレストランのスタッフの皆と一緒に



スタッフのみんなのランチのため
インドネシア料理を作っていました。

フランス料理の一品



研修生の紹介コーナー ⑧



バングラデシュ人の Khatun Mst. Najma です。ニックネームはナズマです。28 歳です。環境保全型農業技術の研修生です。日本に来る前にオイスカバングラデシュ研修センターで畑と養鶏を担当していました。



??ナズマさんに聞いてみましょう??

●バングラデシュのおすすめの場所はどこですか？ ● コックスバザールビーチです。120 キロある世界で最も長い自然のビーチです。満潮時にビーチは 200 メートルの幅があります。干潮時の平均幅は 400 メートルです。海はきれいで安心です。バングラデシュのトップ観光地です。コックスバザール市はフィッシングポートもあります。この所の気温は最高 34.8℃、最低気温は 16.1℃です。



コックスバザールビーチ

●日本の料理で何が 1 番好きですか？ ● みそ汁です。センターで毎朝みそ汁を飲みます。美味しいです。センターでは家政科研修生が作っているのですが美味しいです。日本の家庭で作ったみそ汁は飲んだことが無いですが美味しいと思います。いつか日本人のママが作ったみそ汁を食べたいです。

●日本はどうですか？ ● 山がきれいです。そして、日本の飲み物が美味しいです。アイスクリームはもっと美味しいです。夏の時にアイスクリームをたくさん食べました。冬は食べたいけど寒くて食べられません。

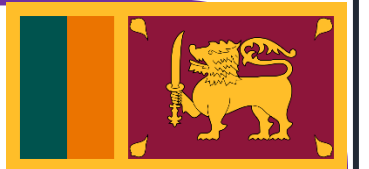
●日本での目標、頑張ることは何ですか？ ● リーダーになるために色々なことをきちんと勉強をすることです。日本語がもっと上手になるためにたくさん勉強します。

●好きな言葉は何ですか？ ● バロバサです。日本語で愛という意味です。私はすべての人から愛をもらいたいです。そして、見返りにみんなにたくさん愛をあげたいです。世界にたくさんの愛があったら平和な地球になるとと思います。

みなさん、愛をください！



スリランカから来た W.S.J.D.G.T.N. Jayamanne です。ニックネームはワサナです。2020 年 2 月 18 日に 21 歳になります。農業一般の研修生です。日本来る前に大学生でした。2 カ月間オイスカスリランカ研修センターで農業を勉強しました。



??ワサナに聞いてみましょう??

●スリランカのおすすめの場所はどこですか。スリ・パダヤ(アダムス・ピーク)です。スリランカの最大の聖地です。仏教徒のみならずヒンドゥー教徒、イスラム教徒、にとっても共有の聖地です。高さ 2,243 メートルあります。仏教にとって、足跡はブッダの左足、ブッダがスリランカに訪れた時でした。タミルヒンドゥー教徒は、それをシヴァ神様の足跡と考えています。また、スリランカの 1 部のイスラム教徒とキリスト教徒は、最初の祖先であるアダム様がエデンの園から追放されたとき立ち寄った場所だと考えています。最初のエデンであったという考えに関連しています。そして、アダム様の身長は 30 フィートであったというイスラム今日の伝統です。山頂の保護を担当する仏教の神であるサマン神殿は、足跡の近くにいます。



スリ・パダヤ

●日本の料理で何か 1 番好きですか？ ● みそ汁とご飯です。

●日本はどうですか？ ● 国がきれいです。日本人はとても親切な心を持っています。時間をとても大事に使っています。そして、まじめに仕事をしている国です。

●日本での目標、頑張ることは何ですか？ ● 日本人と同じように時間を大切に使うことです。日本の文化と日本人のいいところを学びたいと思います。

●好きな言葉は何ですか？ ● ありがとうございます。小さなことがあってもありがとうを言ったら、嬉しく感じます。



グローバル青年の翼ワークショップ

1月18日、福岡県主催の「グローバル青年の翼」の参加者によるワークショップが行われ研修生5名が参加をしました。言葉の壁をどう乗り越えて外国人と共同作業をするのかをテーマとし、チーム対抗で紙飛行機を作りました。主催者の皆さんは昨年11月にオイスカのミャンマーセンター、マレーシアのクアラルンプールへ研修に行ったので研修生との会話が弾んでいました。まず最初にジェスチャーゲームを行い、参加者が打ち解けた後、紙飛行機作りが始まりました。買い出しも可能ということで、グループごとに買い出しにいききました。2時間かけて作った紙飛行機はデザインと距離で競われ、結果はアスラムさん、ティアさんがいるグループの飛行機が一番よく飛びました。研修生達は作業をする中で分からない言葉もありましたが、グループのみんなと協力できて楽しかったようです。(園田)



ホームステイ

12月30日から1月2日まで、私たち研修生はお正月のホームステイをしました。私たち18名はそれぞれの家族にホームステイをしました。楽しい日々でした。私とデリックさんは三島のお父さんとお母さんの家に3日間泊まりました。三島のお父さんとお母さんがとても優しくかったです。日本の一つの文化を体験しました。お正月の時日本人の家に泊まりました。ホームステイの最後の日に私たちを海へ連れて行ってくれました。インドネシアのお正月のお祝いは違います。日本ではごちそうが多いです。例えばおそば、お餅と刺身などです。この時初めて、刺身を食べました。美味しかったです。でも、初めて食べたのであまりたくさん食べられませんでした。インドネシアは賑やかなお祝いをします。12時に花火を家族と一緒にします。ホームステイができてよかったです。(ティア)



外国人技能実習

朝倉市本石産業(かわらぶき)で3年間の技能実習を終えて、インドネシアのデオが1月末に帰国しました。本石産業では2014年より、まだかわらぶき作業での受入れが珍しかった当初から技能実習生を受入れていただきました。その後、朝倉地区でもオイスカ以外の外国人技能実習生も多くみられるようになりました。現在オイスカを通して朝倉地区で12名のインドネシア技能実習生が活躍しています。

その他に、大分市(表装)・日田市(酪農)でそれぞれ3年間の技能実習を終了し一時帰国していた2名の実習生が、新しい制度になってできた技能実習3号として再来日し新たに2年間の実習を行っています。既に日本語や技能を習得しているため、入国後すぐに現場に赴き即戦力として活躍しています。

また、17年前の農業研修OB(フィリピン)が17年まえに農業期間中にお世話になった農家で個人的な繋がりを続け今回双方の希望で技能実習生としての来日が叶いました。現在センターで日本語を中心とした講習を行っています。(彦坂)



かわらぶき専門級試験の様子
デオ(インドネシア)



表装(壁装作業)
ザイムル(マレーシア)



畜産農業(酪農)
ショー(フィリピン)

OB 研修生の紹介コーナー⑫



Dawa Norbu(ダワ)です。チベット人です。2019年3月にオイスカ西日本研修センターでの研修が終了しました。今はインドにある私の農場で農業をしています。私の農場は12haあり、トウモロコシや豆を作っています。土寄せをするのに動物を使っているので飼料用にしています。畑の隣は国立公園でゾウやトラがいます。ゾウから作物を守るために昼間見張るのが大変です。トウモロコシは機械で収穫をし、その後すぐに豆を植えます。豆を収穫して、脱穀したら出荷をします。1haで約6トンの豆が採れるので12haだと約72トンの収量があります。今後は2人雇って40haまで農地を広げたいと思います。収量を増やすためには草刈りと天気が大切だと思っています。これからも応援をよろしくお願いします。(安東)



ゾウにやられたとうもろこし畑



収穫した乾いたトウモロコシ



機械でコーンの粒を取る



コーンの粒を袋に入れている作業



コーンの粒



コーン粒を袋に入れた様子



豆畑



豆の実



皮から取れた豆、販売を

1月の終わりぐらいに気温がすぐ変わります。寒くなったり、温くなったりします。こう言う気温が続くと2019年度の研修生が雪を見られないかもしれません。一回、背振山で少し雪が降りました。その少しの雪でも皆喜びました。彼らたちが3月帰国をしますので、最後の最後2月に雪が降るように願っています。(リナ)

ナズマさんが楽しく雪で遊んでいる様子

